

視察報告書 町田市議会 個人視察（保守連合） 吉田つとむ  
視察先 清溪セミナー 日本青年館  
実施日 平成 26 年 11 月 13 日 福岡政行氏の講演

日本青年館で開催される第 19 回清溪セミナーに前日に続き、2014.11.13 は 2 日目の清溪セミナーに参加しました。超党派地方議員 130 名が参加しての会議でした。

東北福祉大学特任教 福岡政行氏の講演を聴きました。

私は、この講演に関して講師紹介を身近に行いました。以下は、その時の撮影したものです。



本来、この日の講演演目は、政治一般に関する幅広いテーマで、〈今、日本にある七つの危機〉とされていました。とりわけ、地方議員のあり方がテーマになるものでした。

しかし、国会解散が濃厚となり、主要には、与党×野党、政党の盛衰と合流・連携の話が話されました。現実にはみんなの党が解散して、それぞれの立場で分かれていく事態になりました。さらに、野党は候補者をそろえ切らず、結果的に候補者が絞り込まれる事態に至りました。結果を予測すると、それを講師が見通ししているかの進行しました。

それ以外では、日本の問題として、福島原発事故の放射能飛散の影響がぬぐえない視点を強調されていました。現実には、他の場所において原発の再稼働が進行されていますが、福島原発の問題処理無くして、その実現性は薄弱だとみる見方でした。

福島原発事故を処理し得ないで、今後、原発施設の劣化が進む事態の中で、東京オリンピックの開催準備が進むことにも批判的でした。話の飛躍はありましたが、どこかで事故の影響が突出する懸念をぬぐえないことは明白です。

世の中が、東京中がオリンピック誘致決定で浮かれる時、こうした覚めた目も少しは必要であると思い返しました。